

東大病院 精神神経科 精神保健・臨床心理デイケア研修プログラム (TICPOC Bコース)



2025年度研修生募集

精神科リハビリテーションの現場で 心理臨床・精神保健を学ぶ

東京大学の職域・地域架橋型-価値に基づく支援者育成(TICPOC)プログラムのうち、精神科デイホスピタルを中心とした精神科リハビリテーションの現場で、週4-5日の2年間心理臨床・精神保健の研修機会を提供するコースです。

説明会 8/23(金)16:30

出願締切 9/17(火)

方法 東大病院での対面および
Zoomによるオンラインのハイブリット開催
時間 1時間程度(予定)
申込 以下よりお申込みください(8/22(木)17:00締切)
<https://forms.gle/Q9B9V3wvsB4UWGzS9>

出願書類・出願先など詳細は
<https://co-production-training.net/application/>
「2025年度TICPOC_A_B研修生_募集要項」
をご覧ください。
書類選考合格者のみ日程調整の上面接を行います。

※説明会にご参加いただかなかった方も
出願可能です



申込フォーム



TICPOC ウェブサイト

Bコースは、精神疾患を抱えた方への支援について、実践的な経験を通して専門的知識や技法を学んでいくプログラムです。特にリカバリー概念や精神科リハビリテーションについての学びを大切に、精神保健医療福祉分野の幅広い視点を身につけた専門家を養成することを目指しています。この研修制度は形を変えながら30年以上続いており、精神保健医療福祉領域で多くの卒業生が活躍されています。

- 【対象】精神保健医療福祉領域や教育、就労支援領域などで対人支援職を目指す方、または既に従事されており、さらに高度な知識・技術を身につけようとする方(例:臨床心理士、公認心理師、精神保健福祉士、社会福祉士などの有資格者または受験資格を有する方)
- 【期間】2年間(2025年4月から2027年3月までのうち相談の上決定)
- 【曜日】平日週4、5日程度・8:30~17:00 の中で 曜日、時間 応相談
- 【内容】・対人支援の実践的学習: スーパービジョンを受けながら、ケースマネジメントやグループ運営を実践的に学ぶ
・就労支援・地域支援: 担当ケースを通して実践的に学ぶ(企業やハローワーク、その他施設同行・連携など)
・集団療法の実践: 心理教育・SST・CBT・メタ認知トレーニング・CFT(実施者として実践的に学ぶ)
・多職種連携: 心理士・精神保健福祉士・作業療法士・看護師・医師・ピアサポートワーカーらとの協働や共同創造の実践
・講義: 精神医学・心理支援・心理検査・ケースワーク・グループワーク・精神科リハビリテーション
リカバリー概念・共同創造・他施設見学など
- 【定員】2名程度【受講料】無料

東京大学 履修証明プログラム (修了者には履修証明書が交付されます。※学位が授与されるものではありません。)
履修証明についてはコチラ→<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/special-activities/rishushoumei.html>

応募を検討されている方へ: 21期 修了生 矢島明佳(公認心理師・臨床心理士/精神科デイホスピタル)

私が研修を志望したのは、心理系大学院での2年間の学びの後すぐに一人で臨床をする自信がなく、精神科医療の現場で学ぶことでどの領域でも働く自信がつくと思ったからです。実際、2年間の研修が終わるころには医療のほか、教育、福祉、産業などどの分野でも一人で働けるといいう自信ができました。それは、研修を通して①患者さんと密に関わり対応の仕方を学べたこと、②精神科医療や心理療法、社会資源などに関する幅広い知識を体験を通して学べたこと、③先輩スタッフの方がどんなときでも細やかに指導してくださったことによると思います。